

令和4年2月18日	通告順序
午前・後 // 時6分 受領	/

令和4年2月18日

会津美里町議会議長 横山 知世志 様

会津美里町議会議員 6番 長嶺 一也



一般質問通告書

令和4年定例会3月会議において、次のことについて質問したいので、会議規則第61条第2項の規定により通告します。

(注) 1. 質問の要旨は、具体的に記載すること。

2. 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 新型コロナウイルス感染症対策について	<p>年明けの1月中旬より、県の新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大に伴い、1月30日に県全域に「非常事態宣言」が発出されるとともに、「まん延防止等重点措置」が、県全域への適用となったところです。</p> <p>本町においても、1月下旬よりオミクロン株の猛威による感染爆発というべき状況に陥ってしまい、家庭内での感染拡大が進むなど、予断を許さない状況が続いております。</p> <p>町民の皆様におかれましては、現在の感染状況に対して多くの方が不安に感じておられることと思います。新型コロナウイルス感染症対策の最前線に立つ町職員の保健師はもとより、医療福祉関係者、教職員、保育士及び感染拡大防止に御協力をいただいている事業者の皆様に心から感謝と敬意を表し、質問に入ります。</p> <p>始めに、新型コロナウイルス感染症対策についてであります。</p> <p>第6波を招いているオミクロン株は、感染速度が速い上、無症状の患者が多く、10代以下の感染者が多い特徴があり、小中学校などで感染者が急拡大しましたが、学級・学年閉鎖等による感染拡大防止が図られました。このため、5~11歳の子ども</p>	町長 教育長

質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<p>に対するワクチン接種は喫緊の課題であり、スピード感をもつて当該年齢層への接種を進める必要があります。65歳未満の方に対する3回目のワクチン接種が行われている中で、ワクチン接種量が異なる子どもへの接種について、誤って接種してしまうことはあってはなりません。</p> <p>そこで、このようなリスクを避けながら、どのようにワクチン接種を進めていくのかお尋ねします。</p> <p>次に、1回目と2回目のワクチン接種はファイザー製であり、3回目からはモデルナ製のワクチン接種も打てるようになりました。全国的にファイザー製を希望する人が多いとの報道もある一方、交互接種であっても、感染予防や安全性は変わらないことや、感染予防効果が高まるなどの報道もあり、町民はどちらが良いのか不安や戸惑いを抱いていると思います。</p> <p>また、町ホームページを見ると、3月からのワクチンはモデルナ製と掲載されております。町民の中には、モデルナ製だとワクチンは打たない。などと考えている方も出てくるのではないかと心配しますが、私はとにかく、1日も早く3回目の接種を完了することが感染予防には必要だと考えております。</p> <p>そこで、これらワクチン接種に係る正確な情報や不安解消に向けた情報発信が必要と考えますが、今後どのように不安解消に取り組み、町民に周知していくのかお尋ねします。</p> <p>次に、子どもの接種については、接種を希望しない子どもや保護者もいることを前提に、同調圧力がかかったり、学校で差別されたりしないよう、子どもと保護者に十分なワクチンの効果や副反応などの情報を提供すべきと思います。また、子どもの感染者や濃厚接触者が学校に復帰した際、いじめられないためにも、分かりやすく情報を提供していくことも大変重要と考えます。</p> <p>そこで、次の3点についてお尋ねします。</p> <p>① 学校ではワクチン接種の不安解消に係る情報を子どもたちにどのように教えているのか。</p> <p>② 感染者や濃厚接触者が入院又は待機期間を経て、学校へ復帰した際の心のケアやいじめられないような対応をどのようにしているのか。</p>	

質問事項	質問の要旨	質問の相手
2 JR只見線の利活用促進について	<p>③ 子どもとその保護者と、学校・認定こども園の教諭・保育士等の双方が安心できる環境づくりのためにも、教職員・保育士等へのワクチン接種を優先的に行うべきと考えるが、町の考えをお尋ねします。</p> <p>次に、JR只見線の利活用促進にどのように取り組んでいくのかお尋ねします。</p> <p>昨年11月末に、JR只見線の全線再開通時期が本年秋をめどに調整が進められていると公表されました。再開通に係る工事費用と再開通後の運営経費は、県が7割、残り3割は全会津17市町村が負担することとされています。</p> <p>そして、只見線利活用計画の行動計画には、只見線沿線の各市町の様々な事業が記載されています。会津美里町を見ると、たった一つの事業、それも予算額20万円の町商工会が駅前冬季イルミネーションによるおもてなしを行うというものだけでした。これを見た時、たったこれだけかとあきれたものです。これでは、町の只見線の利活用どころか、町長が掲げる課題解決の一つ「交流人口の拡大」にはほど遠いものと言わざるを得ません。</p> <p>そこで、次の2点についてお尋ねします。</p> <p>① 本町における只見線再開通に係る工事費用の負担額及び再開通後負担する毎年度の運営費の予定額を教示願います。</p> <p>② その負担額に見合うだけの事業は、駅前冬季イルミネーション以外に、只見線利用の通年の観光客が、町内にある3つの駅に降りて町内観光するような交流人口の拡大につながる仕掛けや事業をどのように考えているのかお尋ねします。</p>	町長
3 令和4年度の町の組織改編について	<p>次に、令和4年度の町の組織改編についてお尋ねします。</p> <p>まず、産業振興課の森林環境対策室ですが、予定分掌事務内容を見ると森林環境整備以外は、鳥獣被害対策業務だけとの印象を受けました。</p> <p>そこで、分掌事務にある、「森林環境整備事業」とは、具体的にどのような業務を想定しているのかお尋ねします。</p> <p>次に、会津美里町の面積の多くが山林ですが、森林環境整備事業の範囲は、どの程度までを考えているのかお尋ねします。</p> <p>次に、鳥獣被害対策実施隊と協働して事業を実施することですが、鳥獣被害対策実施隊員の資質向上のための研修や新規狩猟免許取得の促進を図るなど、鳥獣被害対策実施隊を強化</p>	町長 教育長

質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<p>する事業をどのように考えているのかお尋ねします。</p> <p>次に、本年1月末、全国的に森林環境譲与税の適切な使途が見いだせず使われていないとの報道がありました。</p> <p>そこで、本町では森林環境譲与税をどのような事業に使っているのか。また、配分額のうち、どの程度の金額を執行し、その額は、配分額の何割なのかお尋ねします。</p> <p>次に、教育委員会の組織改編ですが、教育支援室が新設され、子どもの学力向上に取組まれることは、人材育成にもつながることから大いに期待するものでございます。</p> <p>そこで、新組織を有効に機能させることで、本町の幼小中一貫教育の方策を町民に示し、本町の将来を担う子どもを一貫して教育していくという教育長の意気込みを町民に示すべきと思いますが、所信をお尋ねします。</p> <p>次に、現在、新鶴庁舎は、郷土資料館として改修工事が進められ、本年7月に竣工。その後、展示物の搬入等を経て、令和5年度にオープンする予定とされております。しかしながら、文化系の組織は強化されていません。同僚議員の質問に、町は、郷土資料館は観光資源でもあるので観光担当と連携して利活用を図るとの回答がありました。</p> <p>会津美里町の民俗文化発信の拠点となる郷土資料館として新設されるのですから、魅力ある展示方法や展示物の入れ替えの検討、来館を促す情報発信や利活用の強化など、郷土資料館のオープン前から様々な準備作業が発生します。このため、郷土資料館運営組織を強化する必要があると考えます。</p> <p>そこで、現体制のまま、郷土資料館の運営・来館者誘致の情報発信等をどのようにしていくのかお尋ねします。</p> <p>次に、子どもの地元を愛し誇りに思う心の醸成には、これまで地元に脈々と受け継がれてきた歴史を知り、将来につなぐ担い手たる子どもを育成する必要があると常々考えています。</p> <p>そこで、地元小中学生に対する教育に、この資料館を有効に活用すべきと思いますが、町の考え方をお尋ねします。</p> <p>以上、簡潔な答弁をお願いします。</p>	